

			有効性 再取り込み阻害作用		副作用 受容体遮断作用			
分類	商品名	成分名	NA	5HT	M	$\alpha 1$	H1	
第一世代抗うつ薬	三環系	トフラニール	イミプラミン	2+	3+	4+	2+	3+
		アナフラニール	クロミプラミン	2+	5+	4+	2+	2+
		トリプタノール	アミトリプチリン	1+	4+	5+	3+	4+
		ノリレン	ノルトリプチリン	3+	2+	3+	1+	2+
第二世代抗うつ薬	四環系	アモキササン	アモキサピン	4+	1+	2+	1+	2+
		テトラミド	ミアンセリン	2+	1+	±	1+	5+
	その他	ルジオミール	マプロチリン	4+	1-	2+	2+	3+
		レスリン	トラゾドン	1-	5+	1+	1+	4+
SSRI	ルボックス	フルボキサミン	1-	5+	-	±	2+	
	パキシル	パロキセチン	±	5+	±	-	2+	
	ジェイゾロフト	セルトラリン	-	5+	-			
SNRI	トレドミン	ミルナシプラン	4+	5+	±	-	1+	

気分安定薬	リーマス	炭酸リチウム	躁状態がある場合、気分安定薬が処方される。
	デパケン	VPA	
	テグレートール	CBZ	
抗精神病薬	レボトミン, コントミンなどなど		レボトミンはかなり少量(1mgとか)で処方されることが頻繁にある。
抗不安薬	リボトリール, デパスなどなど		リボトリールは強力な抗不安作用を期待して処方される。
睡眠薬	マイスリーなどなど		
その他	ドグマチール	スルピリド	
	チラージン	甲状腺ホルモン	甲状腺ホルモンが不足している人にうつ状態が出ることがあります。たまに精神科でチラージンが出ます。脳神経外科から甲状腺ホルモン低下と精神症状の改善を目的にチラージンが出されていた事もありました。なお、甲状腺ホルモンが正常であってもチラージンを投与することがあるそうです。